

第2期北海道ギャンブル等依存症対策推進計画の方向性

1 第1期推進計画の課題整理

- (1) 令和3年度第2回推進会議における各構成機関の取組状況評価から、概ね計画どおりに取り組み、今後も継続して取り組む必要のある対策が大部分を占めている。
- (2) 新型コロナウイルスの感染状況等の影響を受け、予定していた取組の延期、中止を余儀なくされたものもあるため、これらについては引き続き実施に向け取組を進めていく必要がある。
- (3) 重点目標に関しては、相談件数の増、研修会受講者機関・受講者数の増など達成できている指標もあるが、職場の研修参加や地域の関係機関による連携会議の設置については取組が進んでいないため、目標の達成に向け取組を強化する必要がある。

2 第2期推進計画の方向性

(1) 計画の構成

国の基本計画の変更点を踏まえるが、現在の推進計画同様、一次予防～三次予防、共通の施策体系で策定する。

(2) 実態調査

第2期推進計画に関しては、次の理由により実態調査は実施しない。

- ① 令和2年度依存症に関する調査研究事業「ギャンブル障害およびギャンブル関連問題の実態調査」報告書が令和3年8月に公表。本調査で得られた結果は、我が国のギャンブル等依存症対策を講じる際の基礎資料とすることとされており、第2期推進計画において活用が可能である。
- ② 他都府県の計画策定では、国の実態調査結果を踏まえて策定しているところが大多数であり、令和4年度中に推進計画見直しを予定している自治体も久里浜医療センターの調査結果を参考として策定を予定している。